

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。
毎月、かんぽ生命がお届けします。

JP かんぽ生命
INSURANCE



Vol.49



「情報の共有化でピラミッド型組織を崩す」と力説する松橋氏。

■**HPを通じて直接取引。**
世界60カ国と、
ネット販売は、顧客との
出会いがきっかけ。

「自分たちが創った製品を値決めして、自力で世界に販売できる自立した会社にしたいと考えてきました。松橋氏はIT化の意義をこう振り返る。

メトロールは、1976年、松橋

「世界60カ国と、
HPを通じて直接取引。
自分たちが創った製品を値決めして、自力で世界に販売できる自立した会社にしたいと考えてきました。松橋氏はIT化の意義をこう振り返る。

「自分たちが創った製品を値決めして、自力で世界に販売できる自立した会社にしたいと考えてきました。松橋氏はIT化の意義をこう振り返る。

メトロールは、1976年、松橋

「自分たちが創った製品を値決めして、自力で世界に販売できる自立した会社にしたいと考えてきました。松橋氏はIT化の意義をこう振り返る。

メトロールは、1976年、松橋

るためには、必須のツールとなつたIT。さらに現在では、単なる効率化の手段としてではなく、顧客開拓や業務プロセスの改革を行い、経営課題を解決するための「攻めの武器」としてITを活用する企業も増えています。今回は経済産業省が主催する「2012年度中小企業IT経営力大賞」の大賞を受賞した、株式会社メトロール(松橋卓司社長)の事例を紹介します。

■**世界60カ国と、**
HPを通じて直接取引。

「自分たちが創った製品を値決めして、自力で世界に販売できる自立した会社にしたいと考えてきました。松橋氏はIT化の意義をこう振り返る。

メトロールは、1976年、松橋

「自分たちが創った製品を値決めして、自力で世界に販売できる自立した会社にしたいと考えてきました。松橋氏はIT化の意義をこう振り返る。

メトロールは、1976年、松橋

るためには、必須のツールとなつたIT。さらに現在では、単なる効率化の手段としてではなく、顧客開拓や業務プロセスの改革を行い、経営課題を解決するための「攻めの武器」としてITを活用する企業も増えています。今回は経済産業省が主催する「2012年度中小企業IT経営力大賞」の大賞を受賞した、株式会社メトロール(松橋卓司社長)の事例を紹介します。



個人を生かせる組織へ。中小企業のIT投資は、組織再生の視点で。

HPでの直接販売を思い立ったの

は98年、当時入社したばかりの松橋氏がアメリカの工作機械展示会に出席したときのこと。その会場に12時間も車を飛ばして製品を買いに来た顧客がいた。その理由を聞くと「商社経由では高くて買えないから」。

氏の父・章氏が創業。金属の工作機械に使われる刃先の始動位置を正確に測定する精密位置決めスイッチの専門メーカーだ。同社のスイッチは機械式で、電気式のセンサーと比べて水や油などに強く、繰り返し精度が1000分の1ミリ以内に収束するという高性能を誇る。この製品を作った企業は世界でもう一社しかなく新規製品を開発し続けているのはメトロールのみだという。

「精密位置決め」というニッチな測定分野で、世界で一番になろうというのが創業当時の理念です」

現在、世界の60カ国以上と取引を行い、海外向けの売り上げが約6割を占める同社。そのビジネスのきっかけをつくったのがHPでの直接販売。700種類もの製品を1個単位で受け付け、注文を受けてから生産を行い、1週間以内に世界各地へ送り届ける。こうした多品種・少量・短納期の受注生産体制を可能にしているのが、同社が構築したオリジナルの生産管理システムだ。

「海外で複数の商社が仲介すると、見積もりをとるだけで1ヶ月、納品まで2~3ヶ月、価格は2~3倍もしまいます。納期を短縮し、価格競争力を高めるためにも直接販売する方法はないかと模索し、目をつけたのがネットでの販売でした」

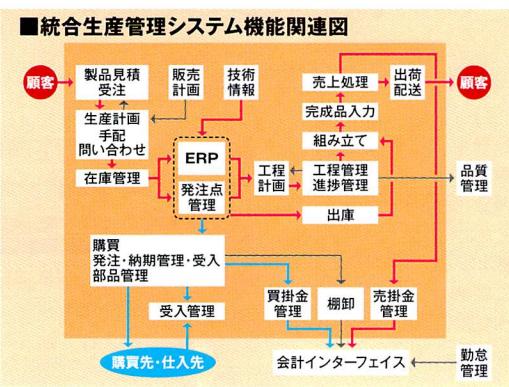
すぐに英語のHPを開設し、代金振り込みと引き換えに製品を販売し始めた。さらに、クレジットカード

で電子決済を可能にし、グーグルに検索連動広告を出し、自社のHPに客を呼び込む道をつくる。注文の多い地域があれば、その展示会に出展し、ニーズを確認したら販売拠点を設立する。

順調に海外の販路を拡大するなか、注文の件数は年々増加。従来のアナログ的な処理では限界がきており、納期の遅れや生産コストの上昇などの問題が生じてきた。

そこで、今までバラバラだった受注から部品発注・生産・出荷までの

管理を統合した一貫生産システム。ERP※を構築。注文がきたら必要な部品を自動的に発注。最適な生産計画を素早く立てて、生産担当のひとりひとりに一個単位で生産指示が出る。完成品在庫はほとんど持たない。このシステム構築のためにマスターを統一したことで、営業・開発・製造の各部門の垣根を越えた協働が可能になった。



世界最小を実現した超小形・精密位置決めスイッチ。

株式会社メトロール 〒190-0011
東京都立川市高松町1-100 立飛リアルエス
テート25号棟5F ☎042-527-3278
<http://www.metrol.co.jp/>

※Enterprise Resource Planningの略。企業全体の経営資源を有効活用するための業務横断的な統合型システム。

IT投資で、スリム&スピーディな組織を実現。

しかし、この統合システムの構築以前に、メトロールはシステム導入に大失敗をしている。大手ITベンダーの提案に従い導入しようとしたオリジナルシステムが、納期が遅れたうえに、動作スピードが遅く、使いものにならなかつた。

ITベンダーとは訴訟寸前まで発展する事態となつたが、何とか費用は回収。失敗を繰り返さないためにITコーディネーターの助言のもと、社内で勉強会を実施して問題点を洗い出し、既存の生産管理システムをカスタマイズして新システムを構築することにした。

新システムには2500万円ほどかかったが、12年度の業績は、開発当初の10年度に比べて、当期利益170%増を達成している。

このほか、同社では国内・海外の営業情報を社内ブログで共有。情報伝達のための会議はなく、ブログの情報とともに管理・開発・製造の担当者が自律的に動いていく。

「ITを使えば、無駄な仲介を省き、情報は簡単に共有化できる。あとは、ひとりひとりの社員が自主的に行動すれば、21世紀の中企業ならではのスリムでスピーディな組織が実現できます。そういう組織なら、自立した個人との両立が可能になるのではないか」

ここぞというIT投資に使える資金、ありますか？

この時代、企業ITを変革するには、業務の流れや組織の構造を抜本的に見直す必要があるかも知れません。大きな投資が必要になるときの資金準備について、一緒に考えましょう。



ぜひ
ご覧ください

マンガで楽しく、
分かりやすく
ご案内しています。

かんぽビジネスライブラリ
「IT投資に活用」の巻

スイッチオン!



文=南雲吉則

ナグモクリニック院長。東京慈恵会医科大学卒業。乳腺専門医。『Dr.ナグモ式 永遠の美バイブル』(ポプラ社)などの著書がある。テレビ番組にも多数出演中。

生命力遺伝子 身体の“洗いすぎ”に注意

肌の老化の原因は“洗いすぎ”

「生命力遺伝子」とよばれるサバイバル遺伝子の力を発現させるためには、飢えや寒さといった環境に身を置くことが大切ですが、それは、身体に備わった本来の力を引き出すにあたって、できる限り「ありのままの状態」であるべきということもあります。

ボディケアに関しても同様です。肌の老化の原因は“洗いすぎ”にあります。ナイロンタオルやスポンジで身体をゴシゴシ洗うと、アカがたくさん落ちるのでキレイになったと感じます。しかし、実はこのアカの正体は、皮膚の保護膜である角質と皮脂、そして外敵を防ぐ善玉菌といった防御の壁です。これらをすべてこすり落としてしまうことは、外敵の侵入を容易に許してしまう環境をつくることになります。身

体本来の機能を活かすためには、ゴシゴシと洗いすぎず、手の平でなで洗いをするほうがよいのです。

脂分の分泌を抑える方法

そもそも身体が不潔になる原因是、必要以上に分泌された皮膚の脂分のせいです。これが体臭や頭髪のフケなどのもとになります。清潔になるには脂分の分泌を抑えればよいのですが、そこでポイントとなるのが「アンドロゲン」とよばれる男性ホルモン。アンドロゲンには、皮膚の脂分を増やす作用があるためです。

一日一食を実践し、肉や乳製品を食べすぎないことで、アンドロゲンの原料となる血中のコレステロール量が減少し、脂分の分泌を抑えることができます。また、前立腺ガンなどといった性ホルモンの影響で成長するガンも減少します。何事も“す

ぎない”生活こそが、身体に若さをもたらすのです。

アカの正体は
皮膚の保護膜と善玉菌

アカを落としきると
外敵が侵入しやすい環境に

まずは…
洗いすぎない

一方で…
皮脂の分泌を
抑える

(注)

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただきますようお願いいたします。

株式会社 かんぽ生命保険

〒100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2

かんぽ生命ホームページ

<http://www.jp-life.japanpost.jp/>

【取扱店名・担当者・電話番号】